

マイナ保険証（マイナンバーカード）に関するお知らせ

2023年4月より
オンライン資格確認システムの導入が
原則義務化となりました。
それに伴い、マイナ保険証の活用により診療請求が異なります。
当院ではマイナ保険証の活用を推奨します。

マイナ保険証を活用しない場合

医療情報・システム基盤整備充実体制加算1(初診時)6点
→1割・2割(10円増加)、3割負担(20円増加)

医療情報・システム基盤整備充実体制加算3(再診時)2点
→1割・2割・3割(おおよそ10円増加)

マイナ保険証を活用した場合

医療情報・システム基盤整備充実体制加算2(初診時)2点
→1割・2割・3割(おおよそ10円増加)

再診時は負担増加なし

受診の際は、 マイナンバーカードを。

あなたのマイナンバーカードをお持ちいただければ、
同意することで、健診情報や処方された薬の情報などを見られるので、
医師もそれらの情報に基づいた診療が行えます。



どんないいことがあるの？

より良い医療が 可能に！

本人が同意をすれば、
初めての医療機関等でも、
特定健診情報や今までに使った
薬剤情報が医師等と共有できる！



カードリーダーのある
医療機関等でマイナ保険証を
利用したとき、初診料等が
低くなる！
さらに、災害時にも利用可能！

自身の健康管理に 役立つ！

マイナポータルで
自身の特定健診情報や
薬剤情報・医療費通知情報が
閲覧できる！



手続きなしで限度額を超える 一時的な支払が不要に！

限度額適用認定証がなくても
高額療養費制度における
限度額を超える支払が免除される！



オンラインで医療費控除が より簡単に！

マイナポータルを通じた
医療費通知情報の自動入力で、
確定申告の医療費控除が
よりカンタンに！



健康保険証として ずっと使える！

就職・転職・引越をしても
健康保険証としてずっと使える！
医療保険者が変わる場合は、
加入の届出が引き続き必要です。



※マイナンバーカードの健康保険証利用には、ICチップの中の「電子証明書」を使うため、医療機関や薬局の受付窓口でマイナンバー（12桁の数字）を取り扱うことはありません。また、ご自身の診療情報がマイナンバーと紐付くことはありません。
※従来の健康保険証が利用できなくなるわけではありません。